



ほろのべ

北緯45度のまち

# 議会だより

## 第50号

発行 幌延町議会

編集 議会報発行特別委員会

電話 01632-5-1111

FAX 01632-5-2971

## 第7回 定例議会

第7回幌延町議会定例会が、議員全員出席のもと12月10日開会され議長から諸般の報告、町長、教育長の行政報告のあと1氏が一般質問を行った。

今回の議会に提出された議事案件は、同意2件、議案15件、発議3件が可決、同意された。

おもな内容	平成21年度補正予算	2
	地域の課題をとらえて 一般質問	3
	議案の質疑	3
	常任委員会活動	4
	議会の動き	5
	編集後記	5

## 平成21年度 補正予算

### 歳出の質疑

**問** 計上されている積立金2千3百90万円を減債基金に充てた理由は。

**答** 減債基金とは、町債の償還に充てるための積立金で、今年度は国の経済対策により事業量が増え町債の額が大きくなった。将来への財務的負担を減らすために減債基金に充てる事とした。

**問** 子育て応援特別手当を支給事業の廃止理由は。

**答** 政権交代により国が事業の廃止を決定したため。

**問** この事業を町の単費で行なう考えはないのか。

**答** 現段階では考えていないが、今後国の動静を見ながら検討していきたい。

**問** 消費者行政活性化事業で76万2千円を新規計上している。悪徳商法等の対策事業と云う事だが、どのように事業を展開していくのか。

**答** 消費者行政を幅広く強化していくと云うことで、担当者の研修旅費、普及啓蒙用のパンフレットの作成、講師を招き町民皆さんに周知を図っていく。

**問** 消費者庁が出来て予算付けされたことだが、事業の必要性は何か。

**答** 町民皆さんの意識を高めて、犯罪被害を未然に防止すると云うことで理解をしている。

### 総括の質疑

**問** 中央保育所について、今後、正職員で人員を増やす考えはないのか。

**答** 22年4月1日から正職員1名を配置する計画。

**問** 次世代育成支援のアンケート調査の結果、保育費の軽減を望む声が一番多かったが今後どう反映していくのか。

**答** 国の示す基準額の8割相当分を保育料として徴収している。他町と比べても高いという認識はない。



保育所の子どもたち(中央保育所)

**問** 農道整備事業について国の予算は今のところゼロだが、今後集乳道の事業は継続できるのか。

**答** 現段階では見当がつかないが、継続事業なので途中で止めると云うことにはならないと理解している。

**問** 道々の除雪について、一部が町の委託業務になったが距離的にも多くの道々を委託できないのか。

**答** 道々の除雪を町が委託できたのは要請を続けてきた結果だろうと思う。今後もしも二重行政の無駄を省き、地元業者が除雪に携わって行けるように最善の努力と交渉をしていく。